

会議名	港区放課 G0→クラブしろかね運営事業候補者選考委員会（放課 G0→クラブしろかね業務委託） 第2回事業候補者選考委員会
開催日時	令和3年10月26日（火曜日）午後1時30分から午後2時46分まで
開催場所	高輪地区総合支所4階会議室
委員	出席者 6名 阿部委員長、田中委員、秋山委員 山本高輪地区総合支所長（副委員長）、白井子ども家庭課長（委員）、 吉野白金小学校長（委員） ※ 阿部委員長、田中委員、秋山委員、山本高輪地区総合支所長（副委員長）、 白井子ども家庭課長（委員）、吉野白金小学校長（委員）はリモート参加 欠席者 0名
事務局	高輪地区総合支所管理課長、管理課施設運営担当
会議次第	1 開会 2 委員の紹介（人事異動に伴う委員変更） 3 議題審議 議題1 第一次審査結果について 議題2 第二次審査について 4 今後のスケジュールについて 5 その他 6 閉会
配付資料	[郵送配付] 次第 資料1 委員名簿 資料2 第一次審査集計表・コメント一覧・事務局採点基準表 資料3 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）方法について 資料4 第二次審査採点基準表 資料5 港区放課 G0→クラブしろかね業務委託プロポーザル第二次審査の実施に関する留意事項（案） 資料6 第1回港区放課 G0→クラブしろかね運営事業候補者選考委員会会議議事録（案）

会議の内容	
委員長	<p>【1 開会】 (委員長より開会の挨拶)</p> <p>【2 委員紹介(人事異動に伴う委員変更)】 (自己紹介)</p> <p>【議事録確認】 次第にはありませんが、資料6の第1回選考員会議事録について、特に修正等がなければこれで決定としてよろしいでしょうか。</p>
全委員	(異議なし)
事務局 委員長 A委員	<p>【3 議題審議】 議題1 第一次審査結果について (資料2について説明) 各委員から講評をお願いします。 事業者Aについてです。「3 安全対策・危機管理(1)日常的な児童の安全確保の取組」について、事業者Aは地域の危険箇所について言及した具体的な記述となっている点を評価しました。「4 事業内容(3)施設条件の特性を踏まえた事業運営に関する工夫や地域の特性を活かした事業」について、食育プログラムやスポーツと遊びのプログラム等を具体的に提案している点を評価しました。「4 事業内容(6)小学校や周辺施設、地域や地元町会等との連携、協力」についても同様に具体的な記述となっている点を評価しました。「4 事業内容(7)障害のある児童への配慮」について、発達障害研修や、多様性受容トレーニング等を取り入れている点を評価しました。B事業者についてです。「3 安全対策・危機管理(1)日常的な児童の安全確保の取組」について、事業者Bの記述内容が浅い印象です。「4 事業内容(3)施設条件の特性を踏まえた事業運営に関する工夫や地域の特性を活かした事業」について、白金小学校の中に設けられている「心のふるさと室」について言及している点に、具体性と実現性があると評価しました。「4 事業内容(8)児童の人権に配慮した事業運営」について、国籍や宗教、低所得家庭への配慮について言及している点を評価しました。事業者Cは「4 事業内容(3)施設条件の特性を踏まえた事業運営に関する工夫や地域の特性を活かした事業」について、施設が小学校内にあるということを踏まえた提案になっています。「4 事業内容(8)児童の人権に配慮した事業運営」について、いじめや虐待のみに言及していますが、他の部分への考えについて、書面から読み取れない点が気になりまし</p>

<p>B 委員</p>	<p>た。</p> <p>全体的に事業者Cが、資料として漏れなく記されており、その次がA、Bという印象です。事業者Aについてです。「3 安全対策・危機管理(3)」施設の衛生管理について他の事業者よりも具体的な取組が記載されていたため高く評価しました。「4 事業内容(7)障害のある児童への配慮」について、障害のある子の兄弟に対する支援まで記述されていた点を評価しました。「4 事業内容(2)児童の状況や年代に応じた育成及び異なる学年の交流」について、年代を超えた交流についての記述が少ないため減点しました。「4 事業内容(5)保護者への対応」について、クレーム等をサービス向上の取組にどう生かしているかという記述が不足していたため減点しました。次に、事業者Bですが、「3 安全対策・危機管理(1)日常的な児童の安全確保の取組」について、地域の実情に応じた安全確保策、予防等の部分が明確になっていないため減点しました。「3 安全対策・危機管理(2)事故・災害等発生時の対応、区や関係機関への報告・連絡体制」について、学校との連携と情報共有について、また災害発生時の職員体制について、明確に記述されていないため減点しました。地形や情報収集に対してしっかりと調べていることは読み取れました。「3 安全対策・危機管理(4)おやつを提供」について、栄養面についての考慮と、誤食防止の取組みに対する部分が不足しているため、減点しました。事業者Cですが、「3 安全対策・危機管理(1)日常的な児童の安全確保の取組」についてと、「(2)事故・災害等発生時の対応、区や関係機関への報告・連絡体制」について、シンプルな言葉で的確に表現し、また、地域と学校についての記述がよく盛り込まれており、高く評価しました。「3 安全対策・危機管理(4)おやつを提供」についても、アレルギーや、食中毒の予防などについて具体的に記述されていたため、高く評価しました。「4 事業内容(2)児童の状況や年代に応じた育成及び異なる学年の交流」についても同様に高く評価しました。「4 事業内容(5)保護者への対応」について、保護者からのクレームを受け取る機会があまり確保されていない点、クレームの対応者について明確になっていない点を減点しました。「4 事業内容(8)児童の人権に配慮した事業運営」について、人権の捉え方が部分的に感じたため減点しました。</p>
<p>C 委員</p>	<p>A事業者ですが、「2 管理運営(4)人材確保・職員採用、人材育成(研修)、職員の定着」について、キャリアパスと必要な研修を明示していることから事業者の育成体制がよく見えました。「3 安全対策・危機管理(1)日常的な児童の安全確保の取組」について、児童自身が帰宅時間を意識できるように工夫している点から、本人の自己管理能力を育てるための工夫が見え、高く評価しました。「4 事業内容では、異年齢交流の取組」についての記載が少ないと思いました。B事業者ですが、「2 管理運営(4)人材確保・職員採用、人材育成(研修)、職員の定着」について、様々な研修や取</p>

<p>D委員</p>	<p>り組みが網羅されていますが、計画的な育成や資質向上を見通した記述が読み取れなかったため、これらの研修がどれだけ人材育成や、職員の定着に繋がるのか疑問です。「3 安全対策・危機管理(1)日常的な児童の安全確保の取組」について、具体的な記述が少ないため減点いたしました。「4 事業内容(1)年間事業計画」について、地域との交流を強く意識している点を高く評価しました。事業者Cについては、人事考課制度を採用し目標に対する達成度を期末で評価するという体制が作られている点を高く評価しました。「3 安全対策・危機管理(4)おやつ提供」について、アレルギー対策や誤食・食中毒予防の取組について記述していますが、それに加えておやつを通じて、四季やSDGsについて学ぶことができる点を高く評価しました。総合的には事業者Cが優れており、その次がA、Bという印象です。</p> <p>事業者A、B、C、それぞれとも非常によくできた提案書だと思います。その中でも差がついた項目ですが、事業者Aは、「2 管理運営(5) 職員の欠勤・欠員の事態への対応や補充の流れ」について、特に評価しています。具体的にどこから応援に入るか、どこから協力を得るかということが明確に書かれていた点を評価しました。また、安全対策・危機管理についても具体的に記載されている点を評価しました。事業者Bは、職員の欠勤・欠員時の対応について、都内に800人ほど職員がいると明示していますが、具体的にどのように協力するか示されていないと感じました。事業者Cは、職員の欠勤・欠員時の対応について、本社がバックアップするところが明示されていました。本社のバックアップを明示していた事業者A、Cは高く評価し、本社の協力というところに留めていた事業者Bは、普通の評価としました。評価の順番としては事業者C、A、Bとなりました。</p>
<p>E委員</p>	<p>事業者C、A、Bの順番で順位を付けました。事業者Bは、基本的なことは押さえていますが、それぞれの記述の内容が薄いと感じました。「2 管理運営(4)人材確保・職員採用、人材育成(研修)、職員の定着」について、事業者AとCが、ワークライフバランスを意識した研修計画を記述している点を評価しました。事業者BとCは、「4 事業内容(1)年間事業計画」において、地域との連携を押さえている点を評価しました。「4 事業内容(2)児童の状況や年代に応じた育成及び異なる学年の交流」について、異学年交流についての記述が、事業者Aは弱く、事業者B、Cの記述を高く評価しました。事業者Bは全体的に高い点数はつけられなかったのですが、栄養士の配置等の専門家の活用に関する記述が要所要所にあり評価できました。事業者Cは全体的に学校の存在を意識している点が評価できました。「4 事業内容(3)施設条件の特性を踏まえた事業運営に関する工夫や地域の特性を活かした事業」について、白金小学校が重視している、児童が学校生活で守る約束である『白金スタンダード』を意識している姿勢を高く評価しました。また、事業者Aが同項目で、GIGAスクール構想に触れた記述をしている</p>

F 委員	<p>点も評価しました。</p> <p>全体的に事業者Cが具体性・安定性があると思いました。事業者Aは、研修内容について、安全確保等の法律に関わるほどの事業者も盛り込んでいますが、子どもについて学ぶ機会が少ないと思います。職員の欠勤・欠員時の対応について、区内に事業所があることが強みになっており、人員を回していく上で心強い体制になっていると思いました。全体的な体制づくりは、安全面や新型コロナウイルス感染防止等の観点からも問題ないと思います。おやつの提供について、栄養面に加えて、楽しく食べることを強調していた点を評価しました。年間事業について、放課 G0→学童クラブの児童と放課 G0→の児童を同様に扱うと強調している点を評価しました。白金小学校が力を入れていることを意識した姿勢も評価しました。地域との連携についてきめ細かな図り方を考えていると思いました。障害への理解度は全く表れていませんが、サポートする体制は会社の方にある、という書き方になっています。当事者だけでなく会社のサポートも大事ですので、そこは評価しました。人権については視野が狭いと思います。事業者Bは、新型コロナウイルス対応として、換気について触れていなかったため安全性に欠けると思いました。白金小学校に対する理解は示されておりました。障害児については具体的な理解が示されていませんでした。人権の問題ではひとり親家庭や低所得層の家庭まで踏み込んだ点は評価できますが、具体的にどのように配慮するのか読み取れませんでした。良いアイデアは随所に散りばめられていましたが、全体的に具体性がなく、減点しています。C事業者は、放課 G0→クラブの経験のある職員を配置することをポリシーとしている体制を評価しました。ただ、そのための人材確保が、どれ程実現性があるのか、という点は読み取れませんでした。また、安全対策の中で日常的な児童の安全確保の取組について、具体的な調査を実施している点を評価しました。災害発生時の対応と連携・連絡体制も問題ないと思いました。新型コロナウイルス感染症対策を含めた衛生管理についてですが、地域の衛生管理の専門である保健所による手洗い指導を導入している点を評価しました。年間事業計画には特色のあるプログラムが組み込まれており、創意工夫している点を評価しました。異年齢交流の中に自由遊びを入れるというのは良い発想だと思いました。子どもたちが主体的に遊びを選ぶこと・作るにより、遊びを展開していくという特徴がある自由遊びの力は非常に大きいと思います。保護者の対応についても、きめ細かな対応が考えられていました。周辺地域との連携についても具体性があり、港区をよく理解している事業者だと思いました。障害児童の対応について、組織性のある対応策を挙げている点を評価しました。曖昧な記述ではなく、どのような体制を作り対応していくか、明確な記述となっている点を評価しました。人権については非常に狭い範囲の人権しか考えられていないため減点しました。</p>
------	---

委員長	各委員からの講評が終わりましたが、何か意見や質問はありますか。特にないようでしたらこの意見交換を踏まえ、ご自身の採点について振り返る時間を設けます。採点を変更する場合は、お手元の採点表の原本を修正してください。採点を変更される方は挙手でお知らせください。
全委員	(なし)
委員長	事務局から再度、点数と順位を発表してください。
事務局	事務局より採点の集計報告 事業者A 901点 第2位、 事業者B 843点 第3位 事業者C 918点 第1位
委員長	第一次審査通過事業者の決定に当たり、第一次審査の通過事業者は上位2者程度としておりますが、第一次審査採点結果を踏まえ、通過事業数についてご意見はありますか。
A委員	全委員が、事業者C、事業者A、事業者Bの順で評価しているので、上位2者でよいと思います。
全委員	(異議なし)
委員長	それでは、第一次審査の通過事業者は、事業者Aと事業者Cの上位2者としてよろしいでしょうか。
全委員	(異議なし)
委員長	議題2 第二次審査について 第二次審査のプレゼンテーション、ヒアリング方法について、事務局からご説明をお願いします。
事務局	(資料3、4、5について説明)
委員長	時間配分は、準備5分、プレゼンテーション15分、質疑応答15分、採点5分よろしいでしょうか。
A委員	6名の委員が質問するため、質疑応答の時間を増やし、プレゼンテーション10分、質疑応答20分に変更することを提案します。
委員長	事前準備の5分も短縮し、準備2分、プレゼンテーション10分、質疑応答20分、採点5分という配分でいかがでしょうか。
全委員	(異議なし)
A委員	出席者のうち1名は、施設長候補者とは別に、現場の実務に精通する者を指定してはいかがでしょうか。
全委員	(異議なし)
A委員	プレゼンテーションは、施設長候補者に行っていただくよう指定していただきたいと思いますが、できますか。
事務局	プレゼンテーションの説明者は施設長候補者とするについて、資料5に追記することは可能です。

委員長	<p>では、そのようにしてください。それから、事業者へ質問事項について、共通質問を設けるか要望がなければ、共通質問は設定せず、先に質問した委員と同じ質問はしないことで時間を有効に使いたいと思いますがいかがでしょうか。</p>
全委員	<p>(異議なし)</p>
委員長	<p>プレゼンテーションは、プロジェクターを使用せず、提案内容を A3 用紙に片面印刷で 1 枚にまとめたものを使用、出席者は 3 名以内とし、うち 2 名は施設長候補者及び本提案業務に関する実務に精通する者とし、プレゼンテーションは施設長候補者が行います。時間配分は 1 者につき準備 2 分、プレゼンテーション 10 分、質疑応答 20 分、採点 5 分ですよろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>(異議なし)</p>
事務局	<p>【4 今後のスケジュールについて】 (事務局から今後のスケジュールについて説明)</p>
	<p>【5 その他】 なし</p>
委員長	<p>【6 閉会】 (閉会の挨拶)</p>